

# 第5回 公社債投資信託

## 運用報告書(全体版)

第55期（決算日2016年5月19日）

作成対象期間（2015年5月20日～2016年5月19日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限とします。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。また、各前期末までに金利水準、想定されるポートフォリオのインカム収入等を基に、各期の目標分配額を定め、その目標分配額の実現を目指して運用を行うことを基本とします。
主な投資対象	円建ての公社債（国債、政府保証債、地方債、金融債、事業債等）を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	年1回決算を行い、決算日の分配前の基準価額が元本（1万口当たり1万円）を超過する分を原則として全額分配します。決算日の分配前の基準価額が元本を下回っている場合、分配を行いません。

## 野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104  
〈受付時間〉 営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○最近3期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税分		騰落率	新株予約権付社債 (轉換社債) 組入比率	債券組入比率	純資産額
		達配	み金				
	円	円	銭	%	%	%	百万円
53期(2014年5月19日)	10,000		8.66	0.1	—	96.0	40,831
54期(2015年5月19日)	10,000		7.66	0.1	—	75.6	38,276
55期(2016年5月19日)	10,000		5.02	0.1	—	77.5	33,768

\*基準価額の騰落率は分配金込み。

\*当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、その目標分配額の実現を目指して運用を行うことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

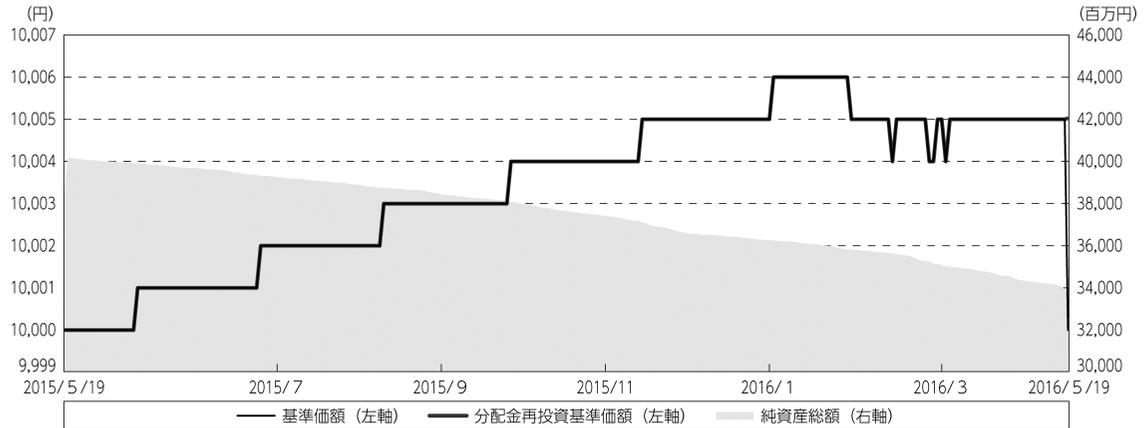
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	新株予約権付社債 (轉換社債) 組入比率	債券組入比率
(期首) 2015年5月19日	10,000	—	—	75.6
5月末	10,000	0.0	—	74.0
6月末	10,001	0.0	—	77.4
7月末	10,002	0.0	—	81.3
8月末	10,002	0.0	—	82.0
9月末	10,003	0.0	—	82.9
10月末	10,004	0.0	—	82.8
11月末	10,004	0.0	—	84.0
12月末	10,005	0.1	—	83.6
2016年1月末	10,005	0.1	—	75.7
2月末	10,005	0.1	—	76.2
3月末	10,005	0.1	—	67.1
4月末	10,005	0.1	—	76.5
(期末) 2016年5月19日	10,005.02	0.1	—	77.5

\*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ◎運用経過

## ○期中の基準価額等の推移



期首：10,000円

期末：10,005.02円（既払分配金（税込み）：5円02銭）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年5月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

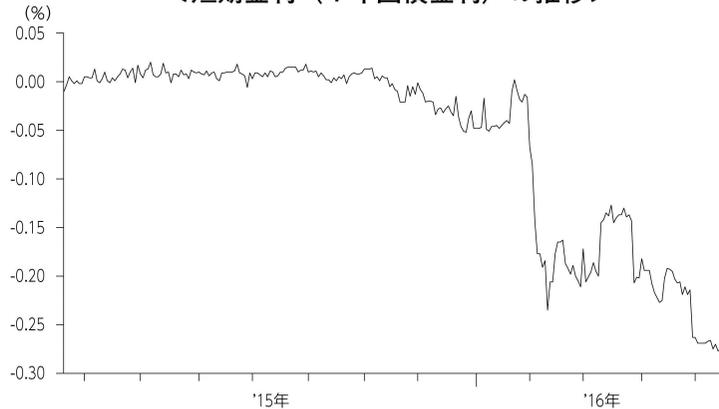
## ○基準価額の主な変動要因

## \* 基準価額は0.05%の上昇

基準価額は、ポートフォリオのインカム（利子）収入などにより、期首10,000円から期末10,005.02円（分配金込み）に5.02円の値上がりとなりました。

## ○投資環境

## &lt;短期金利（1年国債金利）の推移&gt;



\* 代表的な1年の円短期金利の指標である、1年国債金利の水準を示しています。

\* 債券利回りの低下は債券価格が上昇したことを示し、逆の場合は下落したことを示します。

国内経済は企業収益、雇用環境の改善が見られるなど2015年半ば頃まで緩やかな回復を続けました。しかしながら年後半にかけて企業収益の改善に陰りが見られ、また暖冬の影響もあり個人消費が伸び悩むなど、景気回復に一服感が出始めました。2016年以降については新興国を中心に海外経済には弱さが見られ、また個人消費の不振が長引く中で物価見通しについても低下するなど、国内経済の下押しリスクがより認識されるようになりました。

このような中、日本銀行は「量的・質的金融緩和」を継続し、2016年1月の金融政策決定会合では日本銀行当座預金の一部にマイナス金利を付与する「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定しました。

1年国債金利（1年金利）は、国内投資家の需要と日本銀行の買入れなど良好な需給環境のもと、2015年10月頃までおおむね0%近傍で推移し、11月以降は海外勢からの国債需要の強まりも相まって、1年金利は-0.05%程度まで低下しました。日本銀行が追加金融緩和を決定した2016年1月末以降、1年金利は急速に低下した結果-0.2%を挟む水準で推移し、期末は-0.26%程度となりました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

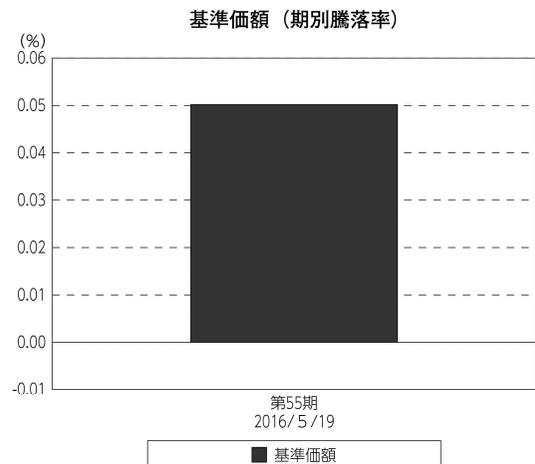
第5回「公社債投信」は、決算時の元本の安定性に最大限配慮し、目標配分額（第55期は1万口当たり3円程度）の実現を目指して運用を行ってまいりました。

- (1) 債券組入比率は、期中概ね65～90%程度で推移し、期末には77.5%となりました。A格以上の信用力の高い発行体が発行する債券を中心に組み入れると共に、コールローン等で運用を行うことにより流動性を確保しました。
- (2) ポートフォリオのデュレーションは、期中概ね0.1～0.6年程度で推移し、期末は0.51年となりました。
- (3) ユーロ円債、サムライ債（円建て外債）への投資は、残存1年程度とし、組入比率は概ね10%弱～20%程度としました。
- (4) 安定した収益確保を目指し信用度の高いコマーシャル・ペーパー（CP）への投資を行い、期末の組入比率は11.8%となりました。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ、その目標配分額の実現を目指して運用を行うことを基本としており、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

## ◎分配金

\* 今期の分配金は5.02円

- (1) 分配方針に基づき、決算日の分配前基準価額の元本超過額を原則として全額分配します。今期の分配金は1万口当たり5.02円(年率0.05%、税込み)となりました。
- (2) 今期は、低金利環境が継続したものの、当初の想定よりも高い水準のスプレッド(国債との利回り較差)を持つ事業債等への投資により、高い利回りを享受できたことがプラス要因となり、目標分配額の3円を上回る結果となりました。

## ◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、決算時の元本の安定性に最大限配慮しつつ安定した収益の確保を目指した運用を行なってまいります。

なお、日本銀行による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入発表以降、市場金利は全般的に低下しております。マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

また、第56期については、金利水準、想定されるポートフォリオのインカム収入などを基に目標分配額は1万口当たり0円程度と致しました。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※マイナス利回りの資産への投資等を通じてファンド全体の損益がマイナスとなった場合は、ファンドの基準価額が下落することが想定されますのでご注意ください。

## ○ 1万口当たりの費用明細

(2015年5月20日～2016年5月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 0	% 0.001	(a)信託報酬＝1万口当たり元本×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、 基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理 および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.000)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(0)	(0.001)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	0	0.003	
期中の平均基準価額は、10,003円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2015年5月20日～2016年5月19日)

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	地方債証券	6,037,054	— (6,892,250)
	特殊債券	14,442,533	— (18,976,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	9,637,766	— (6,800,000)

\*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分です。

\*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

## その他有価証券

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	コマーシャル・ペーパー	5,499,448	— (1,500,000)

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*（ ）内は償還等による増減分です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2015年5月20日～2016年5月19日)

## 利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 30,117	百万円 3,020	% 10.0	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

## ○組入資産の明細

## 国内公社債

## (A) 国内(邦貨建) 公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	5,965,800 ( 5,965,800)	6,018,885 ( 6,018,885)	17.8 (17.8)	— (—)	— (—)	— (—)	17.8 (17.8)
特殊債券 (除く金融債)	3,813,000 ( 3,813,000)	3,838,788 ( 3,838,788)	11.4 (11.4)	— (—)	— (—)	— (—)	11.4 (11.4)
金融債券	7,170,000 ( 7,170,000)	7,187,770 ( 7,187,770)	21.3 (21.3)	— (—)	— (—)	— (—)	21.3 (21.3)
普通社債券 (含む投資法人債券)	9,100,000 ( 9,100,000)	9,126,660 ( 9,126,660)	27.0 (27.0)	— (—)	— (—)	— (—)	27.0 (27.0)
合 計	26,048,800 (26,048,800)	26,172,104 (26,172,104)	77.5 (77.5)	— (—)	— (—)	— (—)	77.5 (77.5)

\* ( )内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\* 金額の単位未満は切り捨て。

\* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

## (B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>地方債証券</b>		%	千円	千円	
東京都	公募第639回	1.83	100,000	100,612	2016/9/20
東京都	公募第643回	1.7	134,000	135,818	2017/3/17
北海道	公募平成18年度第7回	2.0	201,000	202,791	2016/10/31
神奈川県	公募第140回	1.94	500,000	500,835	2016/6/20
神奈川県	公募第141回	1.97	200,000	200,320	2016/6/20
神奈川県	公募第142回	1.95	100,000	100,652	2016/9/20
神奈川県	公募第144回	1.83	100,000	101,053	2016/12/20
神奈川県	公募第145回	1.8	100,000	101,449	2017/3/20
大阪府	公募第292回	2.1	200,000	200,776	2016/7/28
大阪府	公募第293回	2.1	100,000	100,573	2016/8/30
大阪府	公募第299回	1.9	970,000	983,866	2017/2/27
大阪府	公募第300回	1.8	100,000	101,391	2017/3/29
大阪府	公募(5年)第81回	0.3	100,000	100,228	2017/2/28
兵庫県	公募平成18年度第10回	2.01	200,000	201,963	2016/11/16
広島県	公募平成18年度第2回	1.9	300,000	303,897	2017/1/30
広島県	公募平成18年度第4回	1.79	100,000	101,448	2017/3/27
埼玉県	公募平成18年度第4回	1.8	100,000	100,641	2016/9/28
福岡県	公募平成23年度第11回	0.3	100,000	100,175	2017/3/27
千葉県	公募平成23年度第8回	0.35	100,000	100,264	2017/2/24
新潟県	公募平成18年度第2回	1.87	10,800	10,904	2016/11/29
長野県	公募平成23年度第1回	0.4	100,000	100,221	2016/12/22
共同発行市場地方債 公募第40回		2.1	300,000	301,134	2016/7/25
共同発行市場地方債 公募第41回		2.0	200,000	201,047	2016/8/25
大阪市	公募平成18年度第13回	1.8	200,000	202,687	2017/2/22
大阪市	公募平成18年度第14回	1.8	200,000	202,940	2017/3/22
京都市	公募平成18年度第1回	1.84	100,000	101,070	2016/12/27
京都市	公募平成18年度第3回	1.9	100,000	101,438	2017/2/27
神戸市	公募平成18年度第6回	1.93	150,000	152,194	2017/2/27
横浜市	公募平成18年度第3回	1.87	200,000	202,170	2016/12/20
横浜市	公募平成18年度第4回	1.88	100,000	101,407	2017/2/20
福岡市	公募(5年)平成23年度第10回	0.334	100,000	100,232	2017/3/16
鹿児島県	公募平成18年度第1回	1.9	300,000	302,500	2016/10/31
福井県	公募平成23年度第2回	0.304	100,000	100,174	2017/3/27
小	計		5,965,800	6,018,885	
<b>特殊債券(除く金融債)</b>					
公営企業債券	政府保証第871回	1.8	100,000	101,217	2017/1/25
公営企業債券	政府保証第873回	1.7	611,000	619,457	2017/3/17
日本政策投資銀行債券	政府保証第16回	1.8	202,000	204,783	2017/2/28
日本高速道路保有・債務返済機構債券	政府保証債第140回	0.4	100,000	100,080	2016/7/29
日本政策投資銀行社債	財投機関債第21回	0.46	100,000	100,311	2017/3/17
日本高速道路保有・債務返済機構債券	財投機関債第91回	0.16	100,000	100,013	2016/6/20
地方公共団体金融機構債券(5年)	第8回	0.384	100,000	100,291	2017/2/28
地方公共団体金融機構債券(2年)	第2回	0.1	400,000	400,001	2017/3/28
公営企業債券	第24回財投機関債	1.94	100,000	101,119	2016/12/20
公営企業債券	第26回財投機関債	1.78	100,000	101,416	2017/3/24
国際協力銀行債券	第27回財投機関債	1.77	100,000	101,399	2017/3/17
都市再生債券	財投機関債第14回	1.9	200,000	203,013	2017/3/17

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
<b>特殊債券(除く金融債)</b>	%	千円	千円	
都市再生債券 財投機関債第51回	0.512	200,000	200,085	2016/6/20
東京交通債券 第324回	3.4	100,000	102,450	2017/2/7
関西国際空港社債 財投機関債第31回	0.504	300,000	300,498	2016/9/20
中部国際空港社債 財投機関債第2回	0.489	200,000	200,734	2017/2/24
住宅金融支援機構債券 財投機関債第2回	1.8	100,000	101,423	2017/3/17
日本学生支援債券 財投機関債第38回	0.1	700,000	700,489	2017/2/20
小 計		3,813,000	3,838,788	
<b>金融債券</b>				
商工債券 利付第735回い号	0.4	300,000	300,317	2016/8/26
商工債券 利付第736回い号	0.45	300,000	300,470	2016/9/27
商工債券 利付第738回い号	0.45	400,000	400,920	2016/11/25
商工債券 利付第741回い号	0.45	700,000	701,905	2017/2/27
商工債券 利付第742回い号	0.4	300,000	300,846	2017/3/27
農林債券 利付第733回い号	0.55	100,000	100,056	2016/6/27
農林債券 利付第735回い号	0.45	500,000	500,593	2016/8/26
農林債券 利付第737回い号	0.5	200,000	200,436	2016/10/27
農林債券 利付第739回い号	0.5	90,000	90,249	2016/12/27
農林債券 利付第740回い号	0.5	90,000	90,284	2017/1/27
農林債券 利付第741回い号	0.5	1,590,000	1,596,091	2017/2/27
農林債券 利付第742回い号	0.45	500,000	501,582	2017/3/27
しんきん中金債券 利付第261回	0.45	500,000	500,578	2016/8/26
しんきん中金債券 利付第262回	0.45	100,000	100,158	2016/9/27
しんきん中金債券 利付第263回	0.5	300,000	300,652	2016/10/27
しんきん中金債券 利付第264回	0.45	300,000	300,694	2016/11/25
しんきん中金債券 利付第267回	0.45	100,000	100,272	2017/2/27
しんきん中金債券 利付第268回	0.4	300,000	300,846	2017/3/27
しんきん中金債券 利付第269回	0.4	100,000	100,363	2017/4/27
商工債券 利付(3年)第170回	0.2	400,000	400,447	2017/3/27
小 計		7,170,000	7,187,770	
<b>普通社債券(含む投資法人債券)</b>				
三菱商事 第65回担保提供制限等財務上特約無	1.8	100,000	101,407	2017/3/17
三菱商事 第77回担保提供制限等財務上特約無	0.56	200,000	200,659	2016/12/26
みずほコーポレート銀行 第27回特定社債間限定同順位特約付	0.515	800,000	801,650	2016/10/20
みずほコーポレート銀行 第29回特定社債間限定同順位特約付	0.46	900,000	903,359	2017/4/21
東日本旅客鉄道 第76回社債間限定同順位特約付	0.533	200,000	200,185	2016/7/22
日本電信電話 第52回	1.77	500,000	506,912	2017/3/17
GEキャピタルコーポレーション 第23回円貨社債	0.45	100,000	100,140	2016/9/20
GEキャピタルコーポレーション 第26回円貨社債	0.313	200,000	200,386	2017/2/13
オーストラリア・コムウェルス銀行 第6回円貨社債(2011)	1.27	100,000	100,691	2016/12/22
オーストラリア・コムウェルス銀行 第7回円貨社債(2013)	0.315	300,000	300,319	2016/11/18
ウエストバック・バンキング・コーポレーション 第9回円貨社債	1.2	1,100,000	1,109,663	2017/3/9
オーストラリア・ニュージーランド銀行 第7回円貨社債	1.3	100,000	100,802	2017/1/19
ラボバンク・ネダーランド 第10回円貨社債(2011)(コー)	0.817	300,000	300,125	2016/6/9
ラボバンク・ネダーランド 第22回円貨社債(2013)(コー)	0.377	300,000	300,481	2016/12/19
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.10875	300,000	300,009	2016/6/14
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.12	500,000	499,972	2016/12/7
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.12	400,000	400,000	2016/12/8
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.11	200,000	200,000	2017/1/12

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.05	300,000	300,000	2017/2/16
SUMITOMO MITSUI FINANCE AND LE	0.04	1,000,000	999,918	2017/3/9
MITSUBISHI UFJ LEASE & FINANCE	0.03	300,000	299,972	2017/4/13
MIZUHO INTERNATIONAL PLC	0.04	500,000	500,000	2017/4/13
MIZUHO INTERNATIONAL PLC	0.015	400,000	400,000	2017/5/17
小 計		9,100,000	9,126,660	
合 計		26,048,800	26,172,104	

\*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

### 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 4,000,044	% 11.8

\*比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

\*金額の単位未満は切り捨て。

### ○投資信託財産の構成

(2016年5月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 26,172,104	% 75.9
その他有価証券	4,000,044	11.6
コール・ローン等、その他	4,317,852	12.5
投資信託財産総額	34,490,000	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年5月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	34,490,000,630
コール・ローン等	4,268,603,471
地方債証券(評価額)	6,018,885,063
特殊債券(評価額)	11,026,559,297
社債券(評価額)	9,126,660,484
その他有価証券	4,000,044,850
未収利息	32,821,005
前払費用	16,426,460
(B) 負債	721,057,512
未払金	400,000,000
未払収益分配金	16,951,995
未払解約金	297,788,252
未払信託報酬	5,955,451
未払利息	7,163
その他未払費用	354,651
(C) 純資産総額(A-B)	33,768,943,118
元本	33,768,914,376
次期繰越損益金	28,742
(D) 受益権総口数	33,768,914,376口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,000円

(注) 期首元本額は38,275,995,248円、期中追加設定元本額は1,981,540,535円、期中一部解約元本額は6,488,621,407円、1口当たり純資産額は1.0000円です。

## ○損益の状況 (2015年5月20日～2016年5月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 受取利息等収益	257,446,994
受取利息	257,683,579
支払利息	△ 236,585
(B) 有価証券売買損益	△231,498,955
売買益	304,173
売買損	△231,803,128
(C) 信託報酬等	△ 6,543,409
(D) 当期利益(A+B+C)	19,404,630
(E) 前期繰越損益金	33,321
(F) 解約差損益金	△ 2,457,214
(G) 計(D+E+F)	16,980,737
(H) 収益分配金	△ 16,951,995
次期繰越損益金(G+H)	28,742

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	5円02銭0厘
----------------	---------

## ○お知らせ

該当事項はございません。